



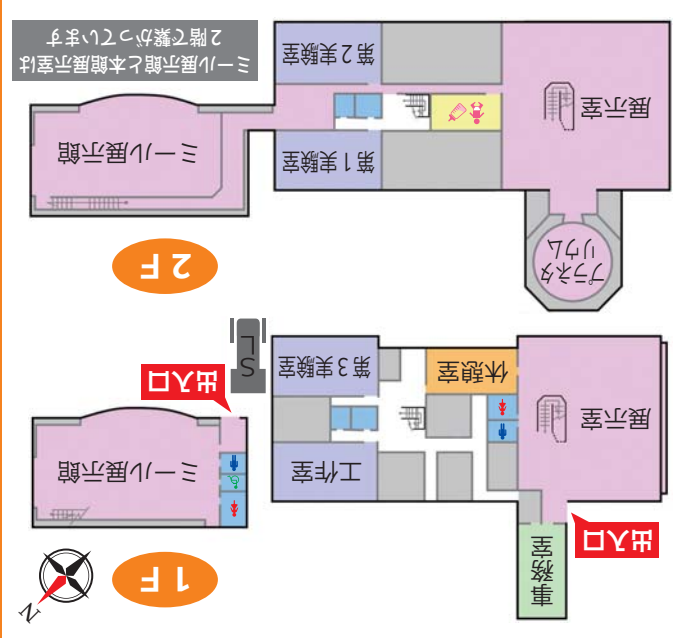
苫小牧市科学センター

科学する心を育てる

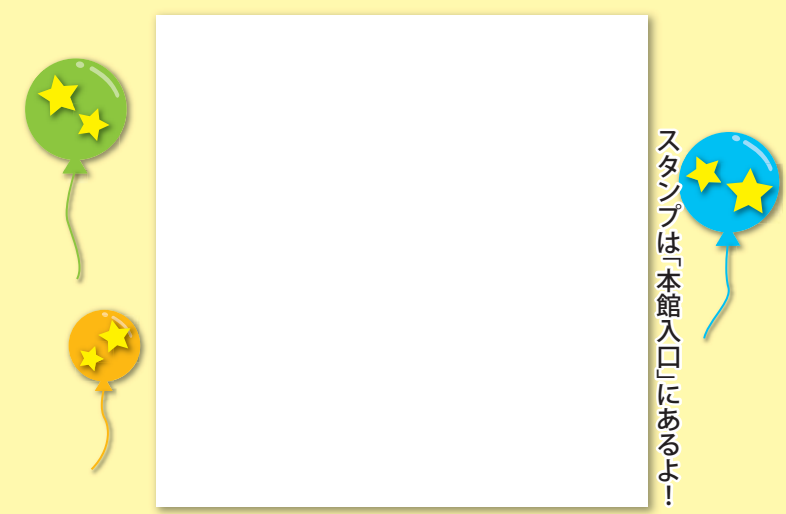
ミール展示館



青少年の科学する心と郷土文化への興味を育むために昭和45年に苫小牧市青少年センターとして開設しました。昭和60年に郷土資料室が博物館として分離したの機に、苫小牧市科学センターに改称しました。宇宙ステーション「ミール」をはじめ、航空・宇宙を中心に体験を重視した展示をしています。

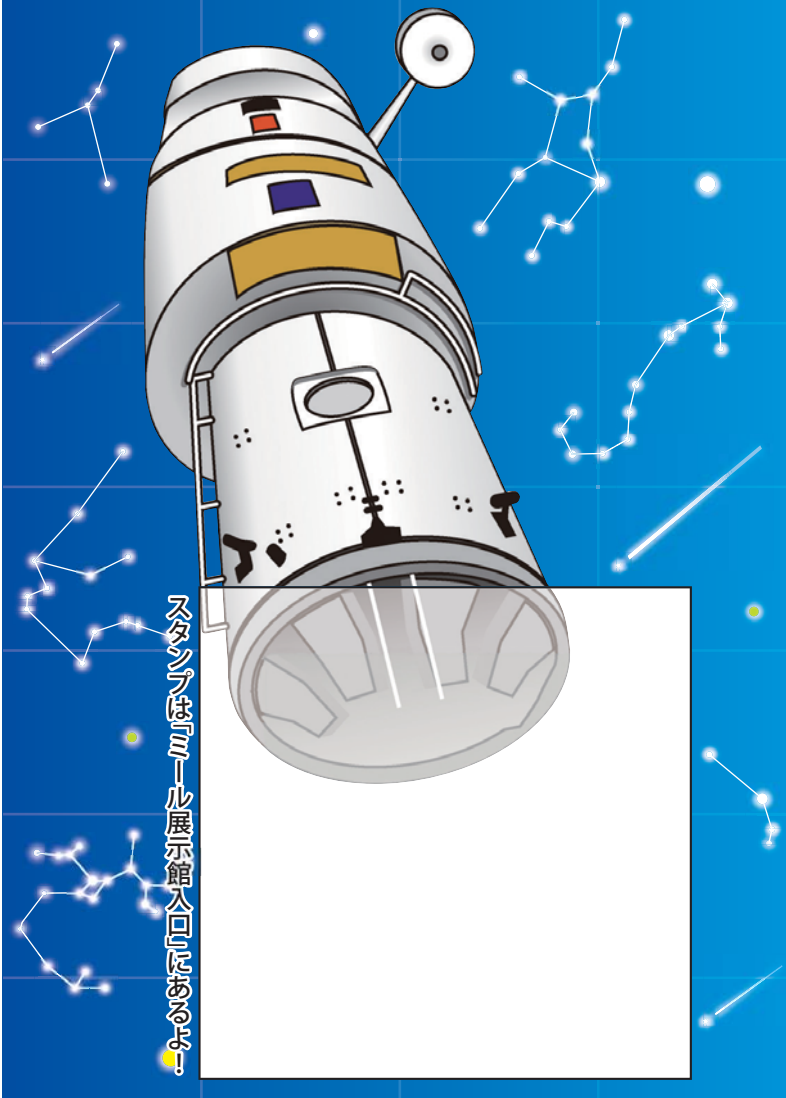


苫小牧市科学センターの概要



苫小牧市科学センターのマスコットキャラクター

サイ	誕生日：5月5日 好きな宇宙食：大学いも	趣味：天体観測
エン	誕生日：4月4日 好きな宇宙食：たこ焼き	趣味：お昼寝
スイ	誕生日：3月3日 好きな宇宙食：アイスクリーム	趣味：科学実験



苫小牧市科学センターの取り組み



小中学生向け教室

実験室や工作室を利用し、小中学生向けに科学・工作教室等を行っています。その他、機関と連携した教室も行っています。

出前講座

科学センターの指導員が学校・地域団体の希望する場所（苫小牧市内に限る）に出向き、科学・ミール・天文などの講座を行います。

科学センター学習

10月中旬から翌年2月上旬までの期間は苫小牧市内の小学5年生を対象に、ミール、プラネタリウムを利用した宇宙・天文等の授業を行っています。期間中は、午前中の団体受け入れをお断りする場合がございますが、ご了承ください。

星空観望会

※番組の入替や機械調整のため、臨時に休止する場合があります。詳しくはお問い合わせください。

●土・日・祝日／11：30、14：00、15：30
●平日（火～金曜日）／14：00、15：30

※番組の入替や機械調整のため、臨時に休止する場合があります。詳しくはお問い合わせください。

プラネタリウム

プラネタリウム室はドーム径10mの水平式、座席は84席です。本体は五藤光学研究所製GX-ATで、6.25等星までの約6500個の恒星を映し出します。

季節ごとに番組内容が変わります。

プラネタリウム投影時間（予約可）

●土・日・祝日／11：30、14：00、15：30
●平日（火～金曜日）／14：00、15：30

星空観望会

プラネタリウム

プラネタリウム室はドーム径10mの水平式、座席は84席です。本体は五藤光学研究所製GX-ATで、6.25等星までの約6500個の恒星を映し出します。

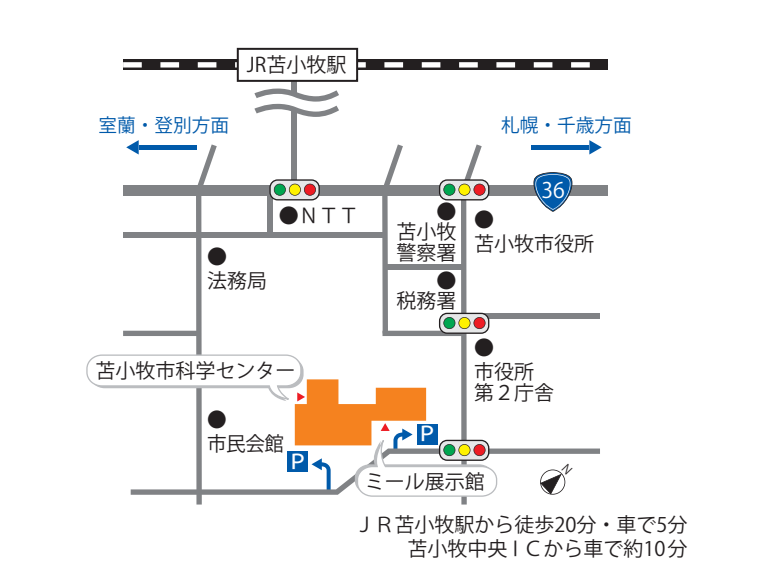
季節ごとに番組内容が変わります。

プラネタリウム投影時間（予約可）

●土・日・祝日／11：30、14：00、15：30
●平日（火～金曜日）／14：00、15：30

ミール展示館

ミール展示館は2階で繋がっています。



開館時間 ●午前9時30分～午後5時
休館日 ●月曜日（月曜日が祝日の場合は、次の平日）・年末年始
入場料 ●無料（プラネタリウムの見学も無料）
駐車場 ●大型バス4台（無料）●家用車20台

苫小牧市科学センター

TEL(0144)33-9153 FAX(0144)33-9159

〒053-0018 北海道苫小牧市旭町3丁目1番12号
E-mail: kagaku@city.tomakomai.hokkaido.jp
URL: https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kagaku/
携帯: https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kagaku/index_m.html

このパンフレットは不要になった際、紙としてリサイクルすることができます。

25.3.9,000

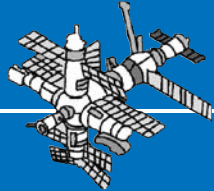
■ミール展示館へようこそ！

1998（平成10）年9月、ロシア（旧ソ連）の宇宙ステーション「ミール」と実験モジュール「クバント」の予備機が苫小牧市科学センターに設置されました。これは、苫小牧市市制50周年を記念して、将来の苫小牧を担う子供たちのためにと岩倉建設株式会社より苫小牧市に寄贈されたものです。そして翌年の1999（平成11）年12月、展示保管施設として「ミール展示館」がオープンしました。

ミールは1986（昭和61）年2月に旧ソ連が打ち上げた世界初の長期滞在型の宇宙ステーションで、ミール本体に6個のドッキングポートを持つことにより巨大な宇宙建造物を作ることになり、無重力環境での様々な実験を行い大きな成功を収めました。しかし設計寿命の5年をはるかに超えた15年の運用で老朽化し2001（平成13）年3月23日14時57分、南太平洋のニュージーランド東方2,000kmの海域に落下しその使命を終えました。1986（昭和61）年にミールが打ち上げられてから延べ100人以上の宇宙飛行士が滞在し、最終的に地球軌道を86,331回周回したことになります。

宇宙開発は当初競争の時代でしたが、1995（平成7）年にはミールとスペースシャトルのドッキングミッションが始まり、宇宙における国際協力の時代へと移行するきっかけをつくりました。そして、各国の協力のもと国際宇宙ステーションの運営が進められ、この計画には随所にミールで培った成果とノウハウが生かされています。

© NASA



ミールQ&A

Q. いつ、どこの国が打ち上げたの？

A. 1986（昭和61）年旧ソ連（現在のロシア）が世界初の長期滞在型の宇宙船として打ち上げました。17カ国100名以上の宇宙飛行士が滞在し、日本人ではTBSジャーナリストの秋山豊寛さんが滞在しました。

Q. なぜ、ミールが苫小牧にあるの？

A. 地元企業の岩倉建設(株)が1990（平成2）年に取得し、1998（平成10）年、苫小牧市市制50周年を記念して苫小牧市に寄贈されました。

Q. 展示してあるミールは本物？模型？

A. 本物です、模型ではありません。ミールは2機つくられ、そのうちの1機が宇宙に行きました。展示してあるミールは宇宙へは行ってませんが、1機目が打ち上げに失敗していたら宇宙へ行っていたかもしれません。

Q. 今も宇宙を飛行しているのですか？

A. いいえ。ミールは耐久年数5年を大幅に超えた15年間の運用によって老朽化したため、2001（平成13）年3月に大気圏で焼却させ、その残骸を南太平洋へと落下させました。

Q. どうやって打ち上げるの？

A. ミールには宇宙に行くために必要なエンジンはついていません。人工衛星と同じように、ロケットで打ち上げられます。

Q. 外側の素材が低強度ですが、宇宙で耐えられるの？

A. 宇宙には空気がありません。空気がない真空状態では空気抵抗による摩擦が起こりませんので、このような素材で十分耐えられるそうです。素材はアルミ合金や太陽からの熱を防ぐ特殊な布などです。

Q. ミールはどこをどのくらいの速さで飛んでいたの？

A. 高度400kmのところを飛んでいました。国際宇宙ステーションも同じで、肉眼で観察することが可能な高さを飛んでいます。ミールの時速は約28,000km。90分で地球を一周します。これは1秒でだいたい8km進む速さで、地球の周りを回するのに最も適した速度となっています。

ミールの内部

操縦室

姿勢や高度を変えるためのエンジン噴射用レバーがイスの下にあります。操縦席は背もたれのような部分の下にひざをつけ身体を支えます。



食卓テーブル

作業台としても使われました。オーブン、ごみ入れなどが備え付けられています。



プライベートルーム

宇宙飛行士が音楽を聴いたり、寝袋に入り睡眠をとる部屋です。



トイレ

無重力では水が流れないので、空気で吸い取ります。



ミールとクバントはドッキングした状態で展示しています。

クバント



天体観測室「KBAHT（クバント）」

クバントはロシア語で「量子」という意味で1987（昭和62）年ミール（コア・モジュール）後部にドッキングしました。クバントは天体物理観測のための望遠鏡などの観測機器と姿勢制御システム、独自の生命維持システムを備えています。全長5.8m、最大直径4.15m、重量11.5t

ドッキングポート

ミールには前に5か所、後ろに1か所のドッキングポートがあり、それぞれにモジュールを連結して宇宙ステーションを作ります。



宇宙ステーション「MIR（ミール）」

ミールはロシア語で「平和」という意味で宇宙ステーションの本体（コア・モジュール）として1986（昭和61）年に打ち上げられました。ミールは前に5か所、後ろに1か所のドッキングポートを備えています。ミール本体は単体でも宇宙ステーションとして機能できるように独自の居住空間、生命維持システム、それに太陽電池パネルを用いた動力システムを備えています。全長13.13m、最大直径4.15m、総重量20.4t

クロスワードパズル



■タテのかぎ

- オリオン座の三つ星はオリオンの〇〇の部分にあります。
- 電圧の大きさを表す単位はボルト。では電流の大きさを表す単位は？
- 〇〇気。真〇〇、〇〇港。
- 2005（平成17）年に日本の小惑星探査機はやぶさが到達した、地球から約3億km離れた小惑星。〇〇・金・地・火・木・土・天・海。
- アメリカ航空宇宙局の略称。
- 苫小牧市科学センターの西側壁面にある壁画のタイトル。「〇〇出る音」
- 新月の逆の状態。
- 苫小牧市科学センターでは10月下旬から翌年2月上旬頃まで、市内の小学5年生を対象に「科学センター〇〇〇〇〇」を行っています。
- 太陽の沈む方角。
- 苫小牧市科学センターまでは、JR苫小牧駅から〇〇〇で5分。
- 恒星の周囲を公転する比較的大きな天体。
- 苫小牧市科学センターのマスコットキャラクターで、水色の男の子の名前。

■ヨコのかぎ

- ミールは宇宙ステーションの〇〇・モジュールとして打ち上げられました。
- 医師や科学者がよく着ている。
- ヒトはサルと同じ祖先から〇〇〇した。
- 苫小牧市にある淡水湖。〇〇〇〇湖。平均水深は60cmです。
- 太陽や月の周囲にできる淡い光の輪のこと。光が大気中の小さな水の結晶を通過するときに屈折して起こる。
- 晴れた日の夜に帯状に見える星の集まり。日本では夏から秋にかけてが最もよく見える。
- 七夕のお話に出てくる彦星のある星座。
- 月が地球の影に入って月面の一部または全部が暗くなる現象。
- ミールの外装は低強度ですが、宇宙では空気抵抗による〇〇〇が起これないので、このような素材でも耐えられます。
- 宇宙〇〇。紫外〇〇。風〇〇。
- 熱や光のエネルギーを発生し輝いている天体。

